

## 会議の開催結果について

- 1 会議名 令和5年度第1回上尾市地域公共交通活性化協議会
- 2 会議日時 令和5年5月30日（火）午後2時30分から
- 3 開催場所 上尾公民館 501講座室
- 4 会議の議題
  - (1) 役員の選任について
  - (2) 令和4年度事業報告について
  - (3) 令和4年度収入支出決算について
  - (4) 令和5年度事業計画（案）について
  - (5) 令和5年度収入支出予算（案）について
  - (6) 令和4年度上尾市地域公共交通計画の進捗について
  - (7) 令和4年度公共交通計画の評価について
  - (8) 市内循環バス「ぐるっとくん」の見直し実施方針（案）について
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴者数 3人
- 8 問い合わせ先 市民生活部交通防犯課  
（担当課） 電話：048-775-5138（直通）

# 会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回上尾市地域公共交通活性化協議会	
開 催 日 時	令和5年5月30日（火）午後2時30分	
開 催 場 所	上尾公民館 501 講座室	
議長(委員長・会長)氏名	西嶋 秋人	
出席者(委員)氏名	山科 和仁、田沼 健一、野口 佳一（代理：鈴木 義和）、 鈴木 貴大、山口 正史、関根 肇（代理：金川 金吾）、 藤田 貢、木住野 誠、相原 秀行（代理：佐藤 裕之）、 坂口 真一、武井 裕之、石山 雅之（代理：齋藤 幸太）、 大石 昇、鮫嶋 紀子、久保田 尚、中山 俊夫、 西野 利彦、古谷 健（代理：甫仮 啓太）、向井 一哲、 岡野 孝史、長島 徹、須田 均、西嶋 秋人	
欠席者(委員)氏名	池田 将寛	
事務局(庶務担当)	秋山市民生活部次長、藤波交通防犯課長、神部主幹、 渡邊副主幹、佐藤主任	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	議事（1） 役員の選任について 議事（2） 令和4年度事業報告について 議事（3） 令和4年度収入支出決算について 議事（4） 令和5年度事業計画（案）について 議事（5） 令和5年度収入支出予算（案）について 議事（6） 令和4年度上尾市地域公共交通計画の進捗 について 議事（7） 令和4年度公共交通計画の評価について 議事（8） 市内循環バス「ぐるっとくん」の見直し実施 方針（案）について	議事（1） は承認 議事（2） は承認 議事（3） は承認 議事（4） は承認 議事（5） は承認 議事（6） は承認 議事（7） は承認 議事（8） は継続協議
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 3名
会 議 資 料	別紙のとおり	

## 議事の経過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	《開会》  《会議成立を報告》  《委員、事務局の紹介》  《西嶋委員に議長を依頼》
会長	《非公開情報の確認》
事務局	《非公開情報はない旨回答》
会長	《会議公開に対する異議の確認》
委員	《異議なし》
会長	《会議の公開決定》  《傍聴希望者の確認》
事務局	《傍聴希望者は3名と回答》
会長	《傍聴希望者に入室してもらおう》 《議事録署名人を鮫嶋委員に依頼》 《鮫嶋委員に承認をいただく》
会長	議事 「(1) 役員の選任について」
事務局	《会長、副会長の事務局案を提示》
会長	《委員に意見を求める》
委員	《異議なし》

会長	<p>《事務局案承認 会長：西嶋委員、副会長：久保田委員》</p> <p>《監事を大石委員、鮫島委員に依頼》</p> <p>《大石委員、鮫島委員に承認をいただく》</p>
会長	<p>「(2) 令和4年度事業報告」、「(3) 令和4年度収入支出決算」 について</p>
事務局	<p>《議事2、議事3に基づき説明》</p> <p>《監査報告》</p>
会長	<p>《委員に意見を求める》</p> <p>《異議なし》</p> <p>《原案通り承認》</p> <p>「(4) 令和5年度事業計画(案)」、「(5) 令和5年度収入支出予算(案)」 について</p>
事務局	<p>《議事4、議事5に基づき説明》</p>
会長	<p>《委員に意見を求める》</p> <p>《他の委員に意見を求める》</p> <p>《異議なし》</p> <p>《原案通り承認、会議資料の(案)の削除を依頼》</p> <p>「(6) 令和4年度上尾市地域公共交通計画の進捗」、「(7) 令和4年度公共交通計画の評価」について</p>
事務局	<p>《議事6、議事7に基づき説明》</p>
事務局	<p>基本施策1の1-4にて「ICカード・キャッシュレス決済の導入の検討」があるが、現在の状況を共有したいと思う。事業者・関係者の委員の皆様から現在の導入状況、利用状況など、ご報告いただきたい。</p>

山科委員	令和4年度は令和3年度と比較して7%の利用増となっているが、コロナ前と比較すると20%の利用減、11%の収入減となっている。交通系ICカードを導入済みである。
田沼委員	交通系ICカードは導入済みで、利用者の8割がICカードを利用している。上尾地区では導入していないが、他地域ではスマホ定期券を導入している。
野口委員	交通系ICカードではないが、商業系の決済として、WAONの決済方法を採用している。導入して間もないが、徐々に増えている状況であり、経過観察の状況である。
山口委員	上尾地区内の事業者で温度差があるため、飛鳥交通の場合となるが、タクシーは端末を一つ入れると、ほとんどの電子決済方法を採用可能となる。2020年度は17.6%、2021年度は21.4%、2022年度は33.3%、2023年度は41.4%と毎年度伸びている。現金は手に入らなくなるが、現金を持たなくてよくなり、防犯上有利である。
会長	《委員に意見を求める》 《異議なし》 《原案通り承認》
	「(8) 市内循環バス「ぐるっとくん」の見直し実施方針(案)について」
事務局	《議事8に基づき説明》
会長	《委員に意見を求める》
須田委員	運賃改定のシミュレーションの運行経費の1.4倍は、運行便数の増便を考慮した経費増加と認識してよいか。また、桶川市の利用者減少率を参考とした根拠は何か。また、これは要望となるが、資料枚数が多いため、次回以降はページ番号を振っていただきたい。
事務局	運行経費の増加については、お見込みの通り、増便(96便→120便)を想定している。運賃改定については、隣接する桶川市でも運賃改定を行っており、同じ100円の値上げとしている。ここでの利用の変化の状況を把握したうえで、参考とした。ページ番号については、次回の協議会以降、改善を図りたい。

大石委員	<p>協議会のメンバーで、ぐるっとくんを利用するのは、自治会連合会のメンバーと、いきいきクラブのメンバーかと思う。メンバーが集まると、話題になるのは、免許返納と、病気のこととなる。今後の免許返納を考えると、ぐるっとくんも移動手段の大きな候補となる。6月から丸山公園で菖蒲祭りが始まるが、行くための手段がないという声もある。高齢者の移動は決して上尾駅に向かう移動だけではないため、利用者の増加を目指していくための試算を考えることも必要となる。</p>
事務局	<p>利用者を増やすための取組みについても、当然考えていく必要がある。コロナ前で年間48万人の利用があり、過年度の利用者や市民へのアンケート調査を踏まえると、現行のルートを維持しながら、増便というニーズが多く見られた。</p> <p>また、近年は運行経費の増加も顕著になっており、収支率は考慮せざるを得ない状況である。その中で、利用者数の維持、収支率の改善は必要であり、ある程度の値上げは我慢していただいたうえで、利用いただければと思う。</p>
大石委員	<p>承知した。ぐるっとくんの運行で、民間のバス事業者はどのような役割を担っているか。</p>
事務局	<p>ぐるっとくんについては、9路線をバス事業者3社で分担して運行している。市から各事業者に運行委託を行っている。</p>
大石委員	<p>車両や運転手もバス事業者が負担しているということか。</p>
田沼委員	<p>その通りである。車両、運転手はバス事業者が準備している。</p>
武井委員	<p>昨年度の会議の中でも、コミュニティバスの増便については応援すると発言したが、やはり、何のためにコミュニティバスの増便をするか、という目的を明確にする必要がある。福祉的な施策との連携も含めて、高齢者の方がより活発に移動してもらい、健康に元気に暮らしてもらい、結果として医療費や介護費も減少し、上尾市が住み良いまちになるかと思う。</p> <p>収支率だけを示すのではなく、どのような効果が期待できるか、サポートするコンサルタントにも協力いただき、数値化できるものはしていただければと思う。活性化協議会だけでは難しいかもしれないが、ぜひ福祉部局が先頭になり、庁内で議論いただきたい。</p>

長島委員	<p>ご意見、非常にありがたく受け止める。健康の面、福祉の面は、部局を横断して議論をできていないが、模索していきたい。</p>
鈴木委員	<p>運賃改定の割引の中で、小学生を半額にする理由として、他市で事例があるから、というのは根拠としていかがかと思う。例えば、鉄道は法律で半額にすると定められている。子供と一緒に外出する観点で見ると、子供が多くいると、外出のたびに支出が多くなり、結局マイカーで移動となっている。ここで子供の運賃が半額になることで、外出しやすい環境を作るなど、こじづけでも良いので、理由があるとよい。</p> <p>運行経費に関連すると、燃料費は40%値上げしており、タイヤ費も25%、部品も14%、修理費も2割、車両代も25%～30%は上がっている。</p> <p>さらに、先ほど労務環境の話があったが、2024年問題と調べていただければすぐにでると思うが、影響は大変大きく、現在の運行内容を維持するためには、人員数として10～15%の増が必要となる。逆に言うと、何も手立てがなければ、来年度から、現在の運行を10～15%削減せざるを得ないという状況であり、理解いただければと思う。</p>
会長	<p>質疑はほかに無いか。見直しに関連する資料は、資料の精査、委員の意見を踏まえた反映も踏まえて、次回の協議会で示す形でよいか。</p>
事務局	<p>次回協議会で改めて提示させていただく。</p>
大石委員	<p>バス事業者、市への要望となるが、ノンステップバスが普及しているが、歩道が対応していない、歩道が対応していても、車両が歩道に横付けできないという問題をよく聞く。高齢者にとって利用がしづらく、配慮いただきたい。</p>
須田委員	<p>歩道が高いのは、マウントアップという構造であり、一時期流行った関係で、整備されている。現在は、歩道と車道の高さを変えない整備が主流であるが、ご要望をすべて反映することは難しいかと思う。意見については、関係部署で共有する。</p>
事務局	<p>昨年度の協議会では、新型コロナウイルスの影響に伴う運行状況の推移などについて、事業者の皆様から、ご報告をいただいていたが、今回も、現在の状況を共有したい。</p> <p>運行の推移やアフターコロナの状況など、事業者・関係者の皆様から、順次ご報告をお願いしたい。</p>

山科委員	<p>コロナが落ち着いたので、ダイヤ減や期間限定の減便をしていたが、現在は行っていない。今年度、東武バスウエスト管内では、18台の車両購入を予定している。</p> <p>来年度の改善基準については、影響が大きく、場合によっては、来年度、減便等の措置の可能性がある。</p>
田沼委員	<p>路線で状況が変わるが、最も悪い路線で2019年比で90%となっている。他路線はもう少し良い状況であるが、ここがコロナ後のこたえかなと考えている。</p> <p>労務環境の改善後のダイヤ調整も苦慮しており、毎月、運転士募集を行っている状況である。</p>
野口委員	<p>令和元年から令和4年までのデータを見ると、今年に入って、回復が見られるが、まだ伸びしろが必要と考えている。また、ダイヤ改正も今後予定しており、ダイヤ改正後の状況も注視していきたい。</p>
鈴木委員	<p>弊社は市内で路線バスを運行していないため、本日持参した、日本バス協会の冊子の内容を紹介させていただく。冊子では、コロナのピークで、利用者数が37%減、乗る距離も減っており、収入で39%減となっている。2023年1月時点では、コロナ前で17%減となっている。</p> <p>各社、2024年問題については、「厳しい」というやわらかい表現をしているが、現行の運行本数の維持は、「不可能」と考えていただく必要がある。</p> <p>先ほど大石委員から指摘のあった、バスの正着については、近年のノンステップバスは車高が低く、ある程度の進入長がないと、正着は難しい状況である。運転手の技量もちろんあるが、ご理解いただきたい。</p>
山口委員	<p>タクシーの利用者数は、2019年と比較し、2020年は59.5%、2021年は62.7%、2022年は90.5%となっている。</p> <p>2022年に運賃を10%上げているが、それでもコロナ前には戻らなかった、生活様式の変化も大きい。</p> <p>一番の懸念が、人員の懸念である。タクシーは高齢でも運転しやすく、2020年は運転手数が26%減っており、減ったままの状況が続いている。</p>
金川委員	<p>コロナで貸切バスの需要運行が消失ストップしていたが、徐々に回復傾向にはある。ただし、回復は個人旅行中心で、学校関係の輸送を除くと自治会、敬老会等の団体旅行が戻っていない。</p> <p>乗合バス事業者様と同様に、燃料費や車両費の高騰、運転手の不足、労</p>

<p>藤田委員</p>	<p>務環境の改善等の問題も山積している。</p> <p>タクシーの県内全体の利用は、2020年がコロナ前の61%、2021年は71%、2022年は71%、今年はまだわからないが、感覚で言うと、8割程度である。埼玉県下では、乗務員の平均年齢が63歳であり、乗務員数は7677人となっている。</p> <p>一つ意見となるが、タクシー車両の有効活用として、もう少し踏み込んだ議論をしていただきたい。さいたま市では乗合タクシーを実施し、収支率40%を目標として運行している。参考になると思われる。</p>
<p>坂口委員</p>	<p>JR東日本全体では、3期ぶりに黒字決算に転換した。ただし、当社は様々な部門があり、運輸部門では240億円の赤字となっている。</p> <p>2023年の1月から3月にかけては、定期収入がコロナ前の77%となっている。肌感として、これ以上元には戻らないと考えている。新幹線が79%、在来線が90%となっており、新幹線の戻りが鈍い。今年のGWも、新幹線はコロナ前の91%となっており、100%にはならなかった。</p>
<p>武井委員</p>	<p>2022年3月にダイヤ改正を実施し、朝の通勤時間帯を3分ヘッドから5分ヘッドに減便した。</p> <p>2022年度の利用者数はコロナ前の92%であり、下期の方が伸びている。内訳は、定期外が35%、定期が65%となっている。</p> <p>通勤定期はコロナ前まで戻っていない状況だった。しかし、本年4月に入って定期はコロナ前の98%まで回復し、通学定期はコロナ前より増えている。一方、定期外はまだコロナ前の9割前後である。</p>
<p>会長</p>	<p>他に意見はないか。なければ、本日の議論を踏まえ、運行見直しについて引き続き事務局において検討いただければと思う。</p> <p>最後に、久保田副会長より、全体について意見をいただければと思う。</p>
<p>副会長</p>	<p>活発な議論をいただき、ありがとうございます。</p> <p>ぐるっとくんの見直しについては、昨年度から本協議会で議論を重ね、今回、増便という見直しの方向性の提案があった。上尾市のこのような動きは非常にまれであり、廃止の議論、特に他市ではコミュニティバスも廃止の議論の遡上に乗る中、上尾市では増便の議論がされており、全国的にも注目されている。増便によりどう変わるのか、しっかり見ていきたい。</p> <p>また、運行ルートについては現状維持を基本としており、現時点で完成形に近づいていると言える。割引についても高齢者、小学生を対象としており、運賃改定についても良い方向性と言える。</p>

会長	<p>一方、完成形に到達した瞬間が、見直しのスタートとも言える。5年後、10年後の社会状況を踏まえ、定時定路線が適合するのか、デマンド方式が良いのか、は引き続き検討してもよい。</p> <p>久保田委員、ご意見ありがとうございました。 以上を持ちまして、本日の議事進行はすべて終了となります。 これで議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>《その他》</p>
事務局	<p>事務局より、次回の協議会についての案内をさせていただく。次回の協議会は7月下旬を予定しており、日程の詳細はまた決まり次第ご連絡する。</p>
田沼委員	<p>上尾駅東口のペDESTリアンデッキの工事に関連し、弊社の3番のりば、4番のりばが使用不可となっているため、現在、仮バス停を設置している。工事開始の2週間前に連絡があり、バス停位置の調整等、苦勞した。運行に影響がある工事については、調整に時間を要するため、前もって連絡いただけるよう配慮いただきたい。</p>
須田委員	<p>市の連絡が直前となり、大変申し訳ない。関係部署にはご意見を伝えておく。ただ、当該工事はもともと足場の設置を想定しておらず、急遽必要になった。そのため伝達が遅れてしまった経緯があり、今後はこのようなことが無いよう努めるが、ご理解いただきたい。</p> <p>《閉会》</p>